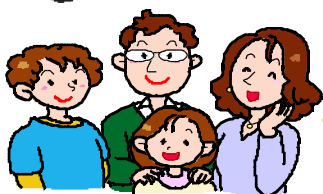


図書だより

国見小学校図書館教育部

H28, 11, 21 NO, 7



家読カードを紹介します。

学校では、現在、全校読書週間を実施しています。お子さんのご家庭での取り組みはいかがでしょう。

さて、10月家読カードの集計が終わりました。今回も、たくさんのご家庭で家読に取り組んでいただきありがとうございました。ご家族の中で、本を介してすてきな交流がされた様子が伝わってきました。特に高学年では、もうすぐ思春期を迎えるお子さんとの時間を大切にしながら、家読の機会を有効に生かしているご家庭が多かったようです。

以下に7人の方のカードを紹介しましたので、お読みになり、今後の家読の参考にしていただければ幸いです。また、2階東廊下に学級代表者の家読カードを掲示していますので、個別懇談の際に、ぜひご覧ください。

「よのなかのルール」 5年女子

<自分>

これから大人になるときに必要なこと・ルールが書いてあったので、またその本を読んでルールを確かめたいと思いました。

<母>

子どもと一緒に世の中のルールを読んで改めて世の中で生きやすくするための約束事を確認できました。

<父>

“よのなかのルール”非常に大事な事だと改めて実感しました。大人になったときに必ず必要になる事なので、ちゃんと子どもに教えたいと思いました。

<弟>

おもしろかった。



「ふまんがあります」

4年男子



<自分>

大人はずるいとぼくも思うし、ぼくと同じことを思っていたけど、大人もいろいろ大変なんだと思いました。

<兄>

お父さんのいろいろなじょうだんがおもしろかったです。

<母>

子どもが「大人ってずるい」と思うことにパパがおもしろい言い訳をするところがおもしろくて、そういう返しができたら楽しかったらうなあ~と思って笑ってしまいました。

<父>

身につまされる内容でした・・・。

「手ぶくろを買いに」 3年女子

<自分>

母さんぎつねに「本当のおててを出しちゃいけないよ。」と言われて、子ぎつねは手ぶくろを買いに行きました。そして、ぼうし屋さんでまちがえて本当の手を出したけど、あたたかい手袋が買えてよかったと思いました。

<お父さん>

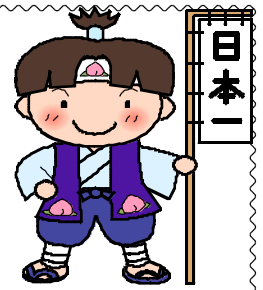
母が子を思う気持ちがすごく実感できて感動した。

<お母さん>

動物も人間も子どもを思う気持ちは一緒だなと思いました。ぼうし屋さんが子ぎつねの手を見てもきちんと手ぶくろを渡してくれたので、子ぎつねの人間に対する考えが変わってよかったなと思いました。感動しました。



「だれでも知っているあの有名なももたろう」 5年女子



<自分>

ももから生まれたももたろうの他に、きゅうりたろうやりんごたろうなどがいたことがよく分かる本でおもしろかったです。ももたろうが鬼を退治してから鬼と友達になって日本に連れてきたと、本に書いてあっておどろきました。

<お父さん>

だれもが知っている「ももたろう」ですが、この本は発想がおもしろい本でした。想定外の内容でとてもおもしろかった。

<お母さん>

日本人ならばももたろうは小さい頃に一度は聞いたことのある有名な昔話ですが、この本はそれとはちょっと違ったとらえ方の「ももたろう」でした。いろいろな考え方が存在する現代版のももたろう、とてもおもしろかったです。

「くろねこのかぞく」
2年女子



<自分>

じぶんとちがういるでもかぞくはかぞくなのでいいとおもいます。くろねこのおかあさんは、じぶんがうんだこどもだからせつとくしたのがいいとおもいます。

<父>

家族は大切。一緒に生活できるのは一瞬です。互いに認め、仲良くしよう。

<母>

子育ては親のおもいどおりにはならないし、また、親の気持ちは親になって初めて気づくものですね。

<兄>

最初はどうかと思いましたが、最後は幸せになれて良かったです。

「ファール」 1年男子

<自分>

10さつもほんをつくってすごいです。

<母>

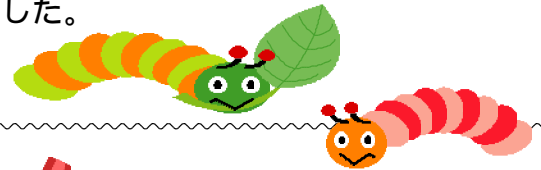
ふんころがしの卵を探すのに30年もかけられる根気がすごい。

<祖父>

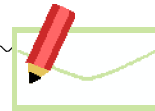
死んだふりをするゴミムシのようにムシの生活を丁寧に観察してとてもおもしろかった。

<祖母>

小さな事でも一生懸命続けることによって大きな事ができるのだと思いました。



「インコの手紙」 6年女子



<自分>

インコは飼い主にひどいことをされていました。でも、インコが天国に行ってしまったとき、お互いの本当の気持ちが分かってきました。飼い主さんの本当にやりたかったことができなくて、インコは天国に行ってしまったので悲しい気持ちになりましたが、本当の愛ときずながあることを最後に感じました。

<母>

自分が子どもの頃に飼っていたペット達を思い出しました。あの頃、私はあの小さな命をもっと大切にできたのではないかと大人になった今でもジーンと考えてしまいました。

<妹>

インコがかいぬしさんにひどいことをされたまま天国にいったしまったのがとてもかなしかった。読んでみて本当はなかよくしたいんだなあと思いました。

